



宮司プレス 第百五十八号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和二年八月九日

◇宮司の柴田です。一昨日の七日は、立秋でした。暦(こよみ)の上では、秋ですが、炎熱(えんねつ)焼(や)くがごとき残暑(ざんしょ)きびしき折節(おりふし)です。依然(いぜん)として、新型コロナウイルス感染症の勢いがおさまりません。コロナウイルス禍の世相であります。日本経済新聞には、「コロナウイルス下」と記載されていましたが、コロナウイルス感染症の蔓延(まんえん)が日常化していると言っても過言ではありません。近代日本の思想(しそう)に大きな影響を及ぼされた、「善の研究」の著者(ちよしや)でもある哲学者の西田幾多郎(にしだ きたろう)先生は、「見えるものは見えざるもの影」とおっしゃいました。連日ニュース等で報道される感染者の数や地方自治体の知事から発せられる注意喚起(ちゅういかんき)の会見等、見えないうイルスの脅威(きょうい)にさらされています。さらに、マスク着用やアルコール消毒、三密を回避(かいひ)する生活など、感染予防の新しい生活様式(ようしき)や生活習慣(しゅうかん)も、見えないウイルスによってもた

されているのです。相田みつをさんは、「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだな」という詩を残していらつしやいます。大事なものは、目に見えないのです。水道管やガス管、ライフラインも、地下深く埋められています。コロナウイルス禍になる前の、いわゆる「ビフォー コロナ」の、当たり前の日常が、本当に尊いものだと思えてなりません。古語(こご)では、光の事を「かげ」と読ませました。光をあてられているからこそ陰(かげ)ができるわけで、実は、私どもの「ビフォー コロナ」の何気ない日常は、見えざるものの影である、「お光様」だったのです。◇実は、見えない大切なものは、「しん」と読むことができます。前述(ぜんじゆつ)のとおり、「見えざるもの影 お光様」である「神」。私共は、親から命のバトンを受け継いでいますが、命の別名でもあり、過去を意味する「親」。そして、なにより今を生かされ生きているのは自分自身、現在を意味する「身」。さらに、苦難を乗り越え未来を切り開いて行かなくてはなりません、未来を意味する「新」。人と人の

つながりを大切につくりあげていく信頼という「信」。その信頼を積み重ね積み重ねて、目に見えない本物である、「真(まこと)」の姿に近づく、「真」であります。「神親身新信真」で、すべて、「しん」と読めるのです。

◇コロナウイルス禍で、新しい生活様式を余儀(よぎ)なくされています。まさに、「感染症が不易(ふえき)、変えてはならないもの」を浸食(しんしょく)する時代」になりつつあります。しかしながら、古来日本人が大切にしてきた「敬神宗祖(けいしんそうそ)」、神を敬い祖先を尊ぶ心がけは、けつして変えてはならないと思えます。私は、昨年(さね)から、敬神生活の心がけを「四KプラスR」と提唱して参りました。このコロナウイルス禍の中、私は、新たに、「OとY」を加えて、「四KプラスROY」の新しい敬神生活を提唱します。今ある命は、「神」「親」に心から感謝し、自分自身である「身」を謙虚に見つめ直し、未来である「新」に希望を持ち続け、工夫をしながら「信」「真」に近づく生活をする、「感謝 謙虚 希望 工夫の四K」です。そして、利他(りた)思いやりの心で、落ち着いて、ゆとりを持って、生活をする「利他 R」「落ち着き O」「ゆとりY」の「ROY」です。「四KプラスROY」の新しい敬神生活で、「日々是好日」、毎日毎日が、おだやかで良い日でありますように。

◇七月の祭典行事会議報告並びに予定事項

▼手水舎を花手水にしました！

*七月一日～七月九日まで

*七月二十一日～七月二十六日



▼夏越祭限定御朱印頒布中

*七月三十一日まで

▼月次祭 *七月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 *七月一日

▼六連島八幡宮七社祭 *七月九日

※六連島の島内にある、大歳神社、恵比須

神社二社、貴布禰神社、宗像神社、峯像

神社、西海大明神の世話人が、新しい注

連縄と、それぞれの家で伝承されたお

供え物を持参。お社を遥拝(ようはい)

するかたちで祭典を斎行。終了後、授

けられた神様のお召し物(オキヌとい

う)と御幣、注連縄を捧げ持ち、それぞ

れのお社に飾り付けを行ひ参拝をする

神事。

▼田の首八幡宮夏越祭 *七月十九日

▼六連島八幡宮夏越祭 *七月二十五日

※祭典後、島内の三十二軒の家を一軒一軒お

祓いしてまわる、戸別祓いを実施

▼彦島八幡宮夏越祭 *七月二十九日

▼海士郷恵美須神社夏越祭 *七月三十一日

▼神社庁関係

◆山口県神社総代会役員会、山口県神社庁

役員会 *七月十三日

◆山口県神社庁支部長事務局長会議

*七月十四日

▼美祿社会復帰促進センター教誨活動

◆入所時指導 *七月十五日

◆集合教誨女子 *七月二十七日

▼その他

◆下関市中央倫理法人会モーニングセミナー

*七月二日

※午前六時より当宮にて開催

◆下関トイレ掃除の会清掃奉仕作業

*七月十九日早朝

◆迫町自治会役員会

*七月二十二日

◇八月の祭典行事会議予定事項

▼手水舎を花手水にします！

*八月七日～十六日

▼月次祭 *八月一日、十五日

▼貴布禰神社 *八月一日

▼限定御朱印を頒布します*八月三十一日まで

*御初穂料 上：五百円 下：八百円



▼中元祭 *八月十一日～十六日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆下関支部幹事会 *八月四日

◆神社庁教化部代表者会議 *八月二十七日

◆神社庁臨時役員会 *八月二十七日

▼その他

◆下関木鶏クラブ八月例会

*八月三日

◆中央倫理法人会モーニングセミナー

*八月六日

◆初盆のお参り

*八月十三日～十五日

◆迫町自治会

■追善盆供養 *八月十一日

■下関市環境部との会議

*八月十七日

■自治会役員会

*八月十九日